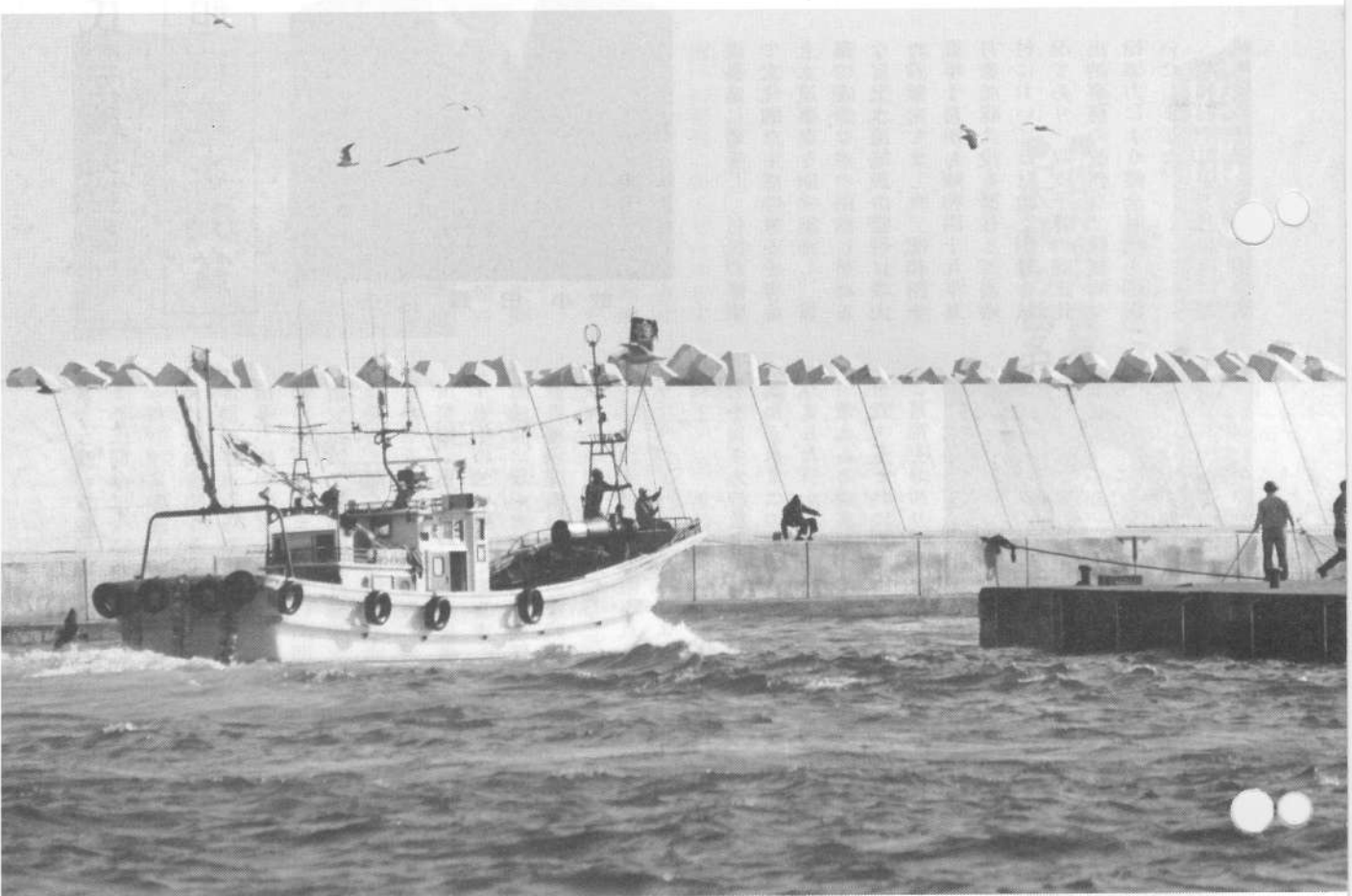


'89

11月号

No.230号



航海はゆとり  
気くばり思いやり  
平成元年度標語

# 海難 ゼロ への願い

“毎月1日は『海難防止の日』”

海では一瞬の油断も許されません  
命の重さを救う救命衣

—海に生きるすべての人たちへ—

### 故小田 輝次氏(元議会議員)

#### 勲六等単光旭日章を受賞



故小田 輝次氏

元鹿部町議会議員、故小田輝次氏( )に、九月六日付をもって勲六等単光旭日章が授与され、九月二十四日に渡島支庁地方部長さんから町長立会のもと、奥さんの小田ナミエさんに対して叙勲の伝達が行われました。

小田さんは、昭和十六年八月から昭和四十五年九月まで鹿部村事務吏員として永きにわたり奉職し、その間昭和三十四年七月から昭和四十二年三月まで産業課長として上水

道事業に着手し、村民の健康で文化的な生活の営みを考え、上水道事業を順次実施し、豊富で安全な水の供給に努めるなど上水道施設の整備に多大の貢献をしました。昭和四十五年十月から昭和四十九年九月まで収入役を歴任し、当時村においては財政上困難な状況であり、収支予算の適正化、出納事務の改善など積極的な指導力により健全財政を確保いたしました。



小田さんの数多くの功績が認められてこの度の受賞となりました。栄えある受賞に心より敬意を表すると共に、小田さんのご冥福をお祈り申し上げます。

員となり、以後平成元年二月まで三期十二年にわたり、町(村)政に参画し、地方公務員の経験を生かし、地方自治伸展の推進役として卓越した指導力統率力をもって議会運営に努められました。この間、議会建設・総務副委員長等を歴任し、町の生活環境の充実に熱意を注ぎ村道の舗装、河川整備、更には、地域住民より永年の強い要望でありました総合グラウンド、山村広場建設整備事業に参画し、野球場、テニスコート等を完備した、スポーツを通じて心のふれあう場所づくりに努力されました。

### 平成元年度鹿部町表彰式 町政功労者十一人が表彰される

平成元年度鹿部町表彰式が十一月三日、文化の日に鹿部中央公民館で行われました。本年度は、鹿部町(村)長として永年地方自治振興に貢献された、川村秀次氏を始めとして、当町の行政各般にわたって貢献されました功労顕著な方々十一人が表彰されました。

### 受賞された皆様のご功績に対し 満腔の謝意と敬意を捧げます

#### 川村 秀次殿

氏は、昭和四十八年鹿部村長に就任以来、四期十六年にわたり鹿部町(村)長として当町の地方自治の振興発展に多大の貢献をされました。

#### 古村 敏男殿

氏は、昭和四十三年十二月から現在まで民生委員、児童委員として二十一年間にわたり当町の民生、福祉行政に多大の貢献をされました。



小田ナミ工殿

氏は、昭和四十三年十二月から現在まで民生委員、児童委員として二十二年間にわたり当町の民生、福祉行政に多大の貢献をされました。



椎野 敏美殿

氏は、昭和三十九年から二十五五年間にわたり鹿部町消防団員として活躍し、消防の使命達成に寄与貢献されました。



長根山昭雄殿

氏は、昭和三十九年から二十五五年間にわたり鹿部町消防団員として活躍し、消防の使命達成に寄与貢献されました。



横山 周一殿

昭和六十三年五月十一日相泊沖、平成元年三月二十日同沖と二度にわたりホタテ養殖作業中に転覆した漁船を発見、人命救助されたことは、他の範とするところであります。



大澤喜代治殿

氏は、昭和四十八年十二月から現在まで代表監査委員として十五年間にわたり当町監査業務に多大の貢献をされました。



橋本 健蔵殿

氏は、昭和二十二年五月鹿部村に奉職、以来平成元年六月退職まで四十二年間にわたり職員として職務に精励され、総務課長、収入役等を歴任され、当町の進展に多大の貢献をされました。



瓜田 健祐殿

氏は、昭和三十九年から二十五五年間にわたり鹿部町消防団員として活躍し、消防の使命達成に寄与貢献されました。



松本 悦雄殿

氏は、昭和三十九年から二十五五年間にわたり鹿部町消防団員として活躍し、消防の使命達成に寄与貢献されました。



伊藤 孝男殿

平成元年三月二十日相泊沖においてホタテ作業中に転覆した漁船を発見、僚船と協力して人命救助されたことは、他の範とするところであります。



大澤 氏

監査委員としての業績認められる

平成元年十月十二日札幌自治会館で行われた全道監査委員協議会において、永年にわたる鹿部町の代表監査委員としての業績が認められ、協議会より功労者表彰を受賞されました。



年金よもやま話

年金制度は

つぶれない

不安

不安

「年金制度はどうせつぶれてしまふんじゃないの？」どうもこういうウワサが流れているようです。日本の人口は

どんどん年寄りが多くなつていくんだから、戦後のベビーブーム世代が老後を迎える頃には年金制度はなくなつてゐるんじゃないか。それならアテにしてもだめだ、なんていう悲観論というか年金不信です。ね。

確かに、現在六人で一人のお年寄りを支えているのが、二十一世紀のはじめのピーク時には三人で一人ということになります。年金制度が一番のがんばり時になるのがその頃です。その頃の一番きつい所を乗り切っていくのに、今の年金制度の足腰が十分強くなつてゐるか眺めてみると、ちょっと弱い。そこで制度全般の見直しのため昭和六十一年四月に年金改正を実施しました。この年金改正により将来の

制度の不安は解消されたわけ

です。従来制度で人口高齢化の山を越えるのは確かにキツイ、病気で倒れてしまうかもしれない。昭和六十一年四月に実施された年金改正は、いわば、これに対する処方箋です。病気を防ぐための準備は今からしておかなければなりません。その処方箋には苦い薬も含まれていますが決して無理を強いるものではありません。基本は、公平な制度を作つていくことで、世代と世代の思いやりが大事だということ

です。二十一世紀の本格的な高齢化社会を前にして、年金制度の総点検をしてみても、具合の悪いところは今のうちに直しておくといいことなのです。それをやっておけば年金制度がつぶれてしまうことなど、絶対に有り得ないということができます。

健康へのページ

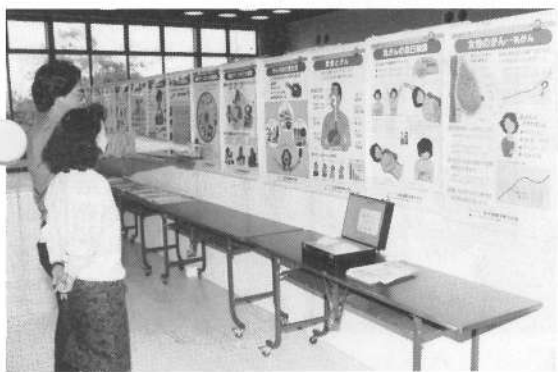
鹿部町健康フェスティバル

10/10

町民の健康づくりの一環として、10月10日(火)体育の日、鹿部中央公民館において第二回鹿部町健康フェスティバルが開催されました。

公民館のロビーと大ホールには、小・中学生の図画・書道作品が展示され、会場に花をそえました。メイン会場の大ホールには健康と体力を確かめる健康チェックコーナー、がんや成人病予防などの各種健康パネルの展示、食品に含まれている塩分・糖分の展示

や年金なんでも相談コーナーが開設されました。参加者は体力測定とその場で健康状態がわかるコンピュータ健康診断を受けて「時々自分の生活をふりかえり、運動不足など改善しなければならぬ点を見つけることも必要だ」と感想を述べていました。食品に含まれている塩分・糖分についても「インスタントラーメンの塩分量は1日の塩分量(10グラム)の半分もあるし



りんご中1個にはグラニュー糖(1本6グラム)5本と同じくらいの糖分があるなんて」とみなさん驚いていました。食生活が豊かになった現在はバランスよく食べ、食べすぎないよう注意することがいかに大切かがわかったようです。午後2時からは昭和女子学園高等学校講師の及川まさ先生を招いて昆布をテーマに講

- 話と調理実習が行われました。内容の一部を紹介しますと、
- 〈こんぶの効用について〉
  - 1 健康美人はこんぶから生まれる
  - 2 こんぶはエネルギーのないミネラル食品
  - 3 こんぶをかむとアゴのせい肉がとれる
  - 4 こんぶは自然のやせ薬
  - 5 こんぶを食べてがん予防
  - 6 ヨードの多い女性は若々しくセクシーである
  - 7 カルシウムは骨や歯を支えるにし、ストレスを解消する調理実習ではこんぶを使った料理3品を作り、試食しました。及川先生のお話では、時々食べるのではなく、毎日2センチ角ずつ食べると体によいのでぜひ習慣づけてほしいということでした。
- 別会場の老人いこいの家ではゲートボール大会のあとに健康教室が行われ、「健やかに老いるために」と題して保健婦の講話がありました。

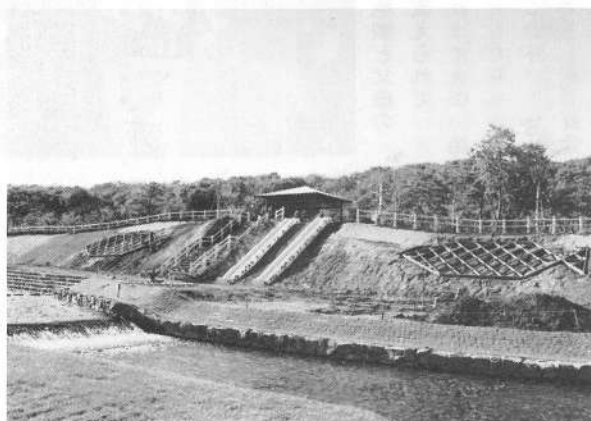
## 平成元年度各会計の予算執行状況(元年9月末現在)

地方自治法、地方公営企業法の定めるところにより、予算の収入及び支出状況を公表します。

(単位：千円、%)

会 計 名	区 分	予算総額	収入又は 支出済額	未収入又は 未支出済額	収入又は 支出済割合
一般会計	歳入	2,467,769	1,148,511	1,319,258	46.5
	歳出	2,467,769	998,755	1,469,014	40.5
国保会計	歳入	582,077	155,398	426,679	26.7
	歳出	582,077	240,385	341,692	41.3
老人保健 会 計	歳入	293,978	113,688	180,290	38.7
	歳出	293,978	101,631	192,347	34.6
水道会計	歳入	64,555	37,309	27,246	57.8
	歳出	64,555	20,375	44,180	31.6

※国保会計において支出済額が収入済額を上まわっている分(不足分)は、一時借入金60,000千円と一般会計からの一時運用金34,000千円により処理されております。



スベリ台や魚の形をした浮き芝



水車と車屋

### 各会計予算措置状況

(単位：千円)

会 計 名	当 初 予 算 額	9月末現在予算額	増 減 額
一般会計	2,050,696	2,467,769	417,073
国保会計	472,587	582,077	109,490
老人保健会計	278,112	293,978	15,866
水道会計	63,863	64,555	692

# 学校祭

★中学校★

## メインテーマ『新世紀』

21世紀を目の前にし、社会の進歩と変化に  
対応して、たくましく生きぬける  
心豊かな人間を目指して

10/7(土)~10/8(日)



★鹿中ルネサンス・鹿中黄金時代・創生を目指して★

今年も生徒会と学校祭実行委員会が中核となり、ち密に計画し、全生徒が一丸となつての全力投球で学校祭の成功を目指しました。



中学校のレベルは「合唱コンクール」に現れるとよく言われますが、今年も声量もハーモニーも合唱らしい水準を確実に作りあげることができ、父母のみならずからたくさん拍手をいただくことができました。多彩なステージ発表、壁新聞、鹿中ギネス、そして各種の展示に生徒の意欲、豊かな表現力、チャレンジ精神、連帯心の結晶を見ることができ、予期以上の成果を収めることができたように思えます。



あったかい地域と父母のぬくもりに支えられて

鹿部でなければできない地域と父母の子どもたちへのプレゼントである野外パーティーやファイヤーストーム、食堂などへの父母の皆さんの献心、焚火や消火の心配をしてくださった方々のお骨折りに心からお礼を申し上げます。



### 心の豊かな子どもを育てる

●小学校●

#### 公開研究会を終えて

多くの関係機関や多くの人たちの恵み、そして、本校職員と子どもたちの頑張り、道徳教育の公開研究会を終えることができました。

町外からの四十名の先生方の参加をいただき、「心の豊かな子どもを育てる」という研究主題で、三つの学級の授業公開と研究発表をしました。子どもたちも、生き生きと学習に取り組み、参加者のみなさんの感動を得ました。

自分をしっかりみつめ、よりよい生き方を考える道徳教育は、学校の基本にかかわる大切な課題であります。子どもたちの経験や体験や実践を通し、今後も、一人ひとりの子どもを心を耕す教育の営みを指向していきたいものだと考えています。

家庭や地域のみなさんご協力をよろしくお願い申し上げます。

学校では今朝もまた、明るく、元気な子どもたちの声に満ちています。

### ロープウエーに乗ったよ

●幼稚園●

十月六日、秋の遠足が行われました。バスで函館山へ登り、降りる時はロープウエーを使いました。初めて乗る子どもも多く、不安な顔をして乗り込んだ子もいましたがロープウエーから出る時には、満面に微笑んで、「こわかったけどおもしろかったよ。」と話していました。

函館山を後に、函館公園でおいしいお弁当を食べてぶじ遠足は終わりました。



12月の主なカレンダー

終業式

幼稚園 25日(月)  
小学校  
中学校

◎幼稚園  
4日(月)～5日(火)  
父母懇談会

7日(木) もちつき会  
22日(金) クリスマス会

◎小学校  
7日(木) 授業参観日(低学年)  
9日(土) 児童文化祭

12日(火) 授業参観日(中学年)  
14日(木) 授業参観日(高学年)  
18日(月) インフルエンザ予  
防接種(4・5・  
6学年)

19日(火) インフルエンザ予  
防接種(1・2・  
3学年)

◎中学校  
4日(月)～5日(火)  
期末テスト  
19日(火) 教育懇談会

鹿部太鼓保存会

鹿部町ふるさと創生事業

●保存会々員募集及び  
●「太鼓」の曲名募集

鹿部町の、ふるさと創生事業が2億円でスタートし、平成元年度では、郷土芸能推進を目指して、(仮称)鹿部太鼓の創設に取り組むことになりました。

九月末に、鹿部太鼓保存会(会長 能代順一)を結成し、週一回練習に励んでおりますが、現在、保存会では、会員を募集しておりますので興味のある方は、ぜひ参加して下さい。

会員募集と並行して、太鼓指導者の方に、作曲をお願い

参考までに他町の紹介をします。砂原町「砂原権現太鼓」南茅部町「南茅部大漁太鼓」恵山町「恵山太鼓」



提出方法 住所・氏名・曲名及び曲のイメージ等を簡略に書いて下さい。(様式自由) 提出先 保存会事務局 七一〇七九(小坂) 教育委員会 七一三二二四

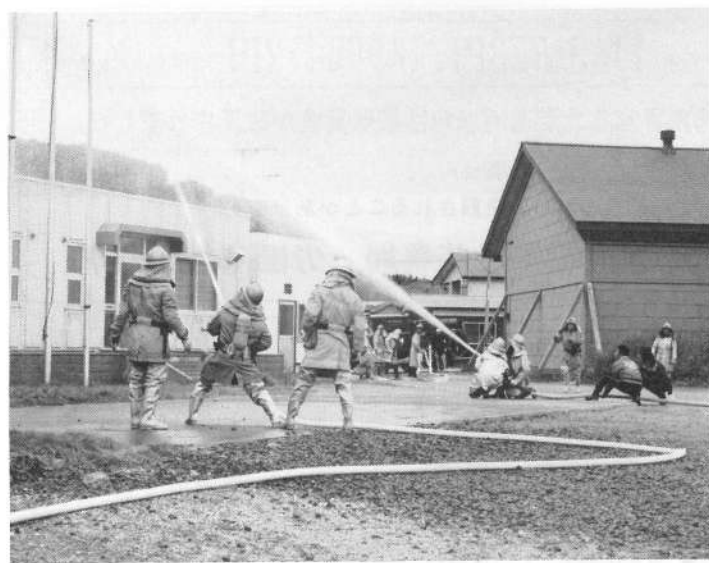
おとなりにあげる

安心・火の始末

消防署、消防団合同火災訓練 10/28

平成元年度全道一斉秋の火災予防運動が十月十五日から三十一日まで実施されました。鹿部では、この運動の一環として十月二十八日(土)午後三時から、鹿部消防署と鹿部消防団による実戦即応訓練を実施

行っていました。 施しました。訓練は、署員十三名、消防団員四十三名と救急車、消防車六台が、鹿部商工会ボイラー室より出火という想定で行われ、放水、救助活動を迅速なチームワークで行っていました。



火災はあなたの生命、財産をうばいます。火の始末は慎重に!!

お知らせ



「寄付のお礼」

○小田ナミエ氏(字鹿部)から町社会福祉協議会へ二十万円のご寄付がありました。会では、ご芳志通り有効に使わせていただきます。本当にありがとうございます。

鹿部警察官駐在署に新たに

森池喬さんが転任されました。森池さんは三八歳で魚釣りが趣味と聞いております。

「冬になると路面は雪や凍結により危険な状態になりますので運転される方は十分注意して安全運転を」と呼びかけておりました。



もりいけ たかし 森池 喬さん

町史編集室だより



「地券」をお持ちの方

方おりませんか

町史編集室では明治十年以後、開拓史・明治十五年函館県・明治十九年北海道庁発行の地券をお持ちの方をさがしています。

地券をお持ちの方は、ごめんどうでも町史編集室(公民館内 電話(七)一三二八七番までお知らせ下さい。

地券「登記所(今の法務局)」

が設置される以前に、土地が個人所有を認められた最初の権利証といわれたもので、地券に記載されている地価にもとづいて地租が賦課されたものです。

寝たきり老人入浴サービス事業開始

町では、福祉事業として各種施策を実施しておりますが、十月一日より、居宅において入浴の困難な寝たきり老人等を対象として入浴サービス事業を渡島福祉会のご協力により行うことになりました。これらの事業を通して健康の保持、機能回復などを図り、生活に生きがいを与えとともに家庭福祉の向上を図ることとしておりますので希望者は、役場民生課にお問い合わせ下さい。



北海道最低賃金改正(10月1日から) 1日3,773円,1時間472円(時間給労働者)

道内のすべての事業場で働く労働者に適用される北海道地域包括最低賃金が改正されました。

最低賃金額には精皆勤手当、通勤手当及び家族手当は算入されません。

最低賃金額以上の賃金を支払わないと最低賃金法違反となり、処罰されることがあります。

北海道労働基準局・労働基準監督署

戸籍の窓

世帯と人口

平成元年10月31日現在 ( )は前月比です。

世帯数	1,428	世帯	(-1)
男	2,541	人	(-10)
女	2,528	人	(-7)
計	5,069	人	(-17)



おたんじょう おめでとう

氏名	小笠原 亮太	父	信親	住所	本別
氏名	森 みづき	父	立成	住所	浜浜
氏名	和野 将也	父	剛	住所	宮浜



おくやみ もうしあげます

氏名	佐藤 富信	享年	六七歳	住所	鹿部
氏名	荒町 仙太郎	享年	七七歳	住所	本別
氏名	平田 ヤノ	享年	八三歳	住所	本別